（様式１）

学校番号	34	学校名	茨城県立那珂高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規

校訓

誠 実　進取　敬 愛

学校の教育目標

1　探究心を養い、自主的、自発的な学習態度を育てる。
2　勤労の精神を養い、望ましい職業観を育てる。
3　感受性を養い、豊かな情操、思いやりの心を育てる。
4　健康増進、体力向上を図り、健康な心身を育てる。
5　深い知性と広い視野を養い、創造力、判断力を育てる。

生徒の実態

・校訓「誠実・進取・敬愛」に違わず、温厚、誠実で、何事にも意欲的に取り組み、他の者への思いやりを持って協調的に物事を進める生徒が多い。
・規範意識はやや高い。
・各学年4クラスであり、生徒と教師のコミュニケーションは円滑である。
・競争心があまりなく、特に学習面において覇気、意志力が稀薄な生徒もいる。

保護者の願い

・基本的な生活習慣を確立させる。
・自分の個性を伸ばして充実した学校生活を送らせる。
・個性・適性に応じ、希望する進路を実現させる。

道徳教育重点目標

1　自主自立の精神を高め、正しく物事を判断し、誠実に実践し、その結果に責任を持たせる。また、個性やたちばを尊重し、慣用と謙虚の心をもって他の人と接するようにさせる。
2　生命の尊さを深く理解し、自他の生命を尊重させる。
3　集団の意義について理解を深め、他者との協力関の向上に努めさせる。

地域の実態

・近くに小学校、中学校、農業高校、短大があり、文教地域を形成している。
・地元那珂市をはじめ県北部の水郡線沿線地域の中堅学校として期待が大きい。

各教科・科目

国語	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。（現代の国語、言語文化）
地歴	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的・平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。（歴史総合）
数学	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を養う。（数学Ⅰ、数学A）
理科	自然に対する関心や探求心を高め、観察、実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。（化学基礎、生物基礎）
保体	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯に渡って計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。（音楽Ⅰ、美術Ⅰ）
外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり、自分の考えなどを表現したりする実践的なコミュニケーション能力を養う。（英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ）
家庭	人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族、家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。（家庭基礎）
情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技術の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。（情報Ⅰ）
総合的な探究の時間	グループで適切な課題を設定させ、その課題の解決や探究活動の過程において、他者と協同して問題を解決しようとする態度を育成する。また、成果について発表をする機会を設け、思考力、判断力、表現力を育成する。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・ホームルーム活動内の話し合いや各活動を通して、生徒相互の好ましい人間関係を育成する。
・自己理解に努め、進路の適性についての判断力を養う。
・ホームルーム活動、生徒会活動、委員会活動などを活発にし、生徒が自主的に学校づくりに取り組むことができるよう配慮する。

≪生徒会活動≫
・生徒か活動を通して、望ましい人間関係を形成し、手段や社会の一員としてよりよい学校生活作りに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。
・校内や校外におけるボランティア活動や地域の社会活動への参加を通して、思いやりや奉仕の精神、公共性などに関わる道徳性を養う。

≪学校行事≫
・学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を気づこうとする自主的、実践的な態度を育てる。

公民科

公共

・広い視野に立って、現代社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

・進路研究や勤労的活動を実施し、勤労観・職業観を育成する。

生徒指導

・基本的な生活習慣、自立的生活態度の確立
・規範意識の高揚
・あいさつの励行、きちんとした制服の着用
・生徒理解に基づいた生活指導
・個別面談、教育相談の充実

家庭との連携

・道徳教育の実施とその内容についての理解と協力
・担任と保護者間の連携の充実
・学年PTA、各種PTA委員会活動を通しての連携の充実

地域社会との連携

・地域ボランティア活動、インターンシップへの積極的な参加
・地域、通学路の清掃
・地元中学校、地域社会との連携や共同活動の推進中学校、地域社会への広報活動の充実